

臨海3Rステーション講座紹介

衣類のリフォーム講座が始まります

家で眠っている布、捨てるには忍びない洋服、何かの役に立たないかと思って保管していたものなどを、よみがえらせたいと思いませんか？

臨海3Rステーションでは平成29年10月と11月の2ヶ月間、全7回コースのリフォーム講座を行います。詳細は、4ページをご覧ください。

お出かけのサイズが合わないから思い切ってチュニックに変えたい、着物をワンピースに作り変えたい、スカートを手さげバッグにしたいなど、それぞれに異なる思いがあるでしょう。今回、リフォーム講座を担当していただく先生は、福岡市東区にある馬出人権のまちづくり館や西区の戸切人権のまちづくり館、福岡市西部3Rステーションなどでリフォーム教室をされている眞嶋法子(まはなのりこ)先生です。受講される方が持って来たさまざまな素材ごとに、個別のアドバイスをしていただきます。

この機会に、ぜひリフォームに挑戦してみませんか？

眞嶋法子先生の紹介

先生は、子育てをしながら、長年自宅で洋裁教室をされていました。デパートの依頼でサイズ直しをしていたこともあり、お客さまの要望に答えたり、どうすれば直した部分が目立たなくなるかを工夫したりした当時の経験が、今も役に立っているそうです。

西部3Rステーションで行われた講師養成講座を受講したことがきっかけで、公共施設などの講座でリフォームを教えるようになったとのこと。

「生徒さんたちのリクエストに応じて、型紙を訂正したり、アイデアを出したりしているうちに、自分がリメイクの楽しさにはまったんですよ」。

眞嶋先生の教室を受講されている方の中には、ミシンをほとんど使ったことがなかったけれど、ズボンのすそ上げから始まり、いろいろなものに挑戦して、最近では大島紬の着物からお母さまのコートを作り上げた方がいるそうです。また、別の受講者から「お店で見たデザインが気に入って、それと同じデザインで作りたい」と要望があったときは、型紙を起こすところから先生が携わったと伺いました。

「新しいものではなく、愛着のある洋服や着物をどう生かしていくか、決まった通りではなくアイデアや工夫を駆使して生活の中で楽しく行っていく、迷ったときにどうするか、人生と一緒に楽しめませんか」。

リフォーム講座で日々の生活を楽しんでいきましょう。



眞嶋法子先生

眞嶋先生の作品



福岡で活動しているボランティア団体の紹介

"家で眠っているタオル"を活用した災害支援活動を行っています

NPO法人福岡被災地前進支援 理事長 吉田敦

福岡被災地前進は「楽しくなければボランティアじゃない」をモットーに、自分たちのできる範囲で被災地支援を続けている小さな団体で、東北や熊本などで震災支援活動を行ってきました。今年7月に発生した九州北部豪雨災害では、週末を中心に東峰村災害ボランティアセンターの運営支援や、ボランティア初心者の方を引率してのボランティア作業などを行っています。

災害ボランティアセンターの運営支援では、「被災地医療支援チームそら」という団体の看護師さんたちと連携して、ボランティア作業の現場を回る救護巡回活動を実施しています。その巡回時に、熱中症予防に効果のある"冷やしタオル"を配布するため、家で眠っている未使用のタオルを収集するとともに、福岡市内で一般の方に参加を呼び掛けてタオルを適当なサイズにカットして、おしぼり状に丸めて箱詰めする簡単な作業を実施しています。ボランティアセンターで冷たい水を注いで作られた"冷やしタオル"は、夏の炎天下で作業されている被災者の方やボランティアの人たちに大変喜ばれています。

被災地支援は、今からさらに息の長い取り組みになります。ボランティアに興味はあるけれどどうしたらいいかわからない・きっかけが無い、という方はどうぞ気軽に私たちにコンタクトしてください。

この他に日常的な活動として災害対応ワークショップを運営しており、平成29年10月22日(日)には福岡市NPO・ボランティア交流センター「あすみん」での開催を予定しています。

NPO法人福岡被災地前進支援

ホームページ <http://zenshinshien.jp/> E-mail info@zenshinshien.jp



被災地や福岡市内での活動の様子



おしえて

かーるちゃん



ごみ減量やリサイクルに関する質問などに、かーるちゃんが答えてくれるコーナーです。

スーパーなどでは食品トレイに魚や肉などを入れて販売しています。不用になった容器をごみとして捨てていませんか？福岡市では、食品トレイを回収しています。食品トレイの回収についておしえてかーるちゃん。

福岡市では、平型で白色の発泡スチロールトレイを回収しているんだ。下記の1～3まで準備ができれば、公共施設の資源物回収ボックスに持って行こう。

1. 回収できるトレイであることを確かめます。(簡単につまようじがささりませぬ)
2. よく洗います。
3. よく乾かします。



公共施設の資源物回収ボックス

下記の区役所や市民センターなどに設置しています

〔東区役所、博多市民センター、中央体育館、南市民センター、城南区役所、早良区役所、西区役所、入部出張所、西部出張所〕
臨海3Rステーションでは、1階家具展示場の中に回収ボックスがあります。

カップめん容器 豆腐容器

出せないものの例

- 卵パック、豆腐容器、納豆容器、カップめん容器、弁当容器
- 色つきトレイ
- 魚箱などの発泡スチロール



スーパーなどでも食品トレイを回収しているよ。白以外の食品トレイも回収できるなど、回収拠点ごとに回収している食品トレイの種類が違うので、お店で確認してね。

食品トレイを回収しているお店の調べ方

福岡市のホームページに回収しているお店の情報が載っているよ。

福岡市環境局のホームページ

→ごみ・リサイクル

→ごみ減量・リサイクル

→資源物回収拠点 資源物を回収しているお店

→調べたい区を選ぶ

食品トレイはリサイクルされて、資源に生まれ変わるよ。臨海3Rステーションや買い物に行く時などに、ぜひ回収ボックスに持って行ってね。